



群馬県産の生梅が出荷始まる！ 京浜地区3市場で「ぐんまの梅フェア」を開催！

平成30年度ぐんまの梅フェア

- 期日：5月31日(木)
- 場所：京浜地区3市場（大田：東京青果㈱、築地：東京シティ青果㈱、横浜：横浜丸中青果㈱）
- 主催：群馬県共計生梅運営委員会
- 内容：群馬県産「白加賀梅」を使用した梅ジュースの試飲、リーフレット等の配布

■ 群馬県産生梅の出荷が始まる！

群馬県での果樹の栽培面積は2,670haで、梅はそのうち38%を占めており、群馬県で最も栽培面積の多い果樹です（H28年現在）。また、全国で見ても、栽培面積・出荷金額ともに和歌山県に次いで全国2位の産地となっています。都中央での群馬県の占有率は19%と和歌山県に次いで高く、「白加賀」の産地として市場からも注目されています。

梅については、昨年・一昨年と不作が続きましたが、今年は3月から好天に恵まれ、気温も高く経過したことから、生育は良好で実付きが良く、豊作傾向となっています。共計生梅では、5月24日（木）に東京青果㈱で初入荷となりました。今後は出荷最盛期に向けて量が増加していく見通しです。

■ 生梅の出荷最盛期に向けて京浜地区3市場でPR！

群馬県産の生梅の出荷最盛期に向けて、群馬県共計生梅運営委員会は5月31日（木）に京浜地区3市場（大田市場、築地市場、横浜中央卸売市場）で消費宣伝のPR活動を行いました。会場では、群馬県産「白加賀梅」を使用した梅ジュース（JAはぐくみの白）の試飲と「白加賀うめレシピ」のリーフレット等の配布による消費宣伝を実施しました。会場を訪れた市場関係者からは、「もう梅の季節か」「白加賀といえば群馬だよな」などの意見が聞かれたほか、今年の生育状況なども聞かれ、群馬県産「白加賀」の知名度の高さを確認すると共に、市場関係者からの強い関心が感じられました。

生梅の販売期間は1ヶ月程度と短いため、しっかりとした販売を行うために、今後も県内や東北地方などでの積極的なPR活動が予定されています。



都中央に入荷された本県産「白加賀」



築地市場でのPRの様子



横浜中央卸売市場でのPRの様子



試飲用梅ジュースと梅のレシピ等